

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
216	自転車	自転車の前かごのステーが折損した。危険なので折損した原因を調べてほしい。	前かごステーは、平面部分の境界部分に応力が集中して亀裂が発生し、繰り返し負荷が加わることで亀裂が進展する金属疲労によって破断したものと推察される。なお、同型品は、販売終了しており入手できなかったため、強度及び耐久性の検証が不可能であり、構造上の原因か否かは特定できなかった。
217	自転車	自転車で走行中突然ペダルが回らなくなり、前のめりに転倒した。ペダルが回らなくなった原因を調べてほしい。	走行中に前車輪の右側から異物を巻き込み、タイヤの左側面が前ホークの内側に押し付けられたことにより、前輪ロックと共にペダルが回らなくなり、転倒に至ったものと考えられる。
218	自転車	幼児座席とセット販売の自転車を購入したが、自転車にゆがみが生じ使用をやめた。安全性に問題があると思うので調べてほしい。	ゆがみの原因と考えられるスポークの破断は、サークル錠を開錠せずにスタンドを外したときに、かんぬきに当たったスポークに生じる引っ張り力をきっかけとして破損が生じ、走行時の駆動力等によってスポークに生じる引っ張り力を繰り返し受けたことにより疲労破断していったものと考えられる。
219	自転車	自転車で走行中に突然前車輪が止まり転倒し骨折した。前車輪が止まった原因を調べてほしい。	苦情品は、整備が必要な状態ではあったが、前車輪周辺には接触痕がなく、前ホークや前車輪にも大きな変形が見られないことから、前車輪が急停止するような要因は認められなかった。
220	自転車	自転車を購入した翌日、走行中に減速しようと両方のブレーキを同時にかけたところ、車輪がロックしたような状態になり転倒し骨折した。車輪がロックした原因を調べてほしい。	制動試験ではブレーキに問題はなかったこと、ブレーキレバーを強く握ると後車輪がロックしたことなどから、本件事故はブレーキレバーを必要以上に強く握ってしまったことにより、後車輪がロックしたり、予想以上に減速するなどした結果、安定性を失い転倒したものと推測された。
221	折りたたみ自転車	折りたたみ自転車で左折のために停止し、こぎ始めたらスタンドが下りた状態で縁石に引っ掛かり転倒、全身打撲した。スタンドに問題がないか調べてほしい。	左側のハブナットの締め跡、ねじ山のつぶれ、座金の変形、ハブ軸の金属くずの形状から、ハブナットの過剰な締め付けが行われたと推察され、製造段階で発生した可能性が高いと考えられる。その後、徐々にハブナットが外へずれ、スタンドがガタつき外れる状態となったと推察される。
222	電動アシスト自転車	電動アシスト自転車のペダルがたびたびロックする。危険なので原因を調べてほしい。	苦情品は何らかの原因で、取り付けボルトが緩み、組み合わされていたナットが脱落したため、プーリーホルダーが駆動補助装置にあるストッパーに乗り上げるとともに、プーリーホルダーの上部がギヤ板に衝突するなどし、最終的にチェーンが駆動補助ギヤに絡まったためにペダルがロックしたものと考えられる。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
223	電動アシスト自転車	電動アシスト自転車のアシスト機能が頻繁に停止する。原因を調べてほしい。	苦情品はアシスト力を優先させたパワーモードの場合はもちろん、走行距離を優先させたエコモードの場合でもペダルを強く踏んだ場合には適切にアシストが利くことが確認された。ただし、特にエコモードでスピードを制御するためにペダルをこぐ力を抑えた場合や一定の弱い力でペダルをこいだ場合にはアシストが利かなくなる感覚があった。
224	電動アシスト自転車	電動アシスト自転車のサドルのスプリングが破損したため転倒し負傷をした。破損した原因を調べてほしい。	苦情品のサドルは、2本あるコイルばねのうち1本が疲労破壊を起こしたと推察された。起点周辺には、塗装剥がれ、変色があり、内部に傷が見られることから、それらをきっかけとして疲労破壊が進展したと推察されるが、それらが購入以前に発生したのか、購入後に発生したのかは特定できなかった。
225	電動自転車	補助輪を付けた電動自転車に乗っていたところ、ハンドルがふらつき転倒した。安定して走行できるか調べてほしい。	苦情品で操縦のしにくさは確認できたが、これは補助輪付き自転車の特性によるものと考えられた。なお、この特性を知らず普通自転車と同じ感覚で使用した場合、転倒などの事故が起きる可能性は十分想定される。
226	自転車用空気入れ	自転車用空気入れの握りを押し下げたときに、握りが破損し中の芯が飛び出し顔面に当たった。原因を調べてほしい。	苦情品は内側の金属製部品が先に破断した後、外側のポリエチレン樹脂の握りが破断したものと推察されたが、苦情同型品が入手できなかったため、破断に至った原因が、購入前から金属製部品に荒れやひび割れなどがあったことによるものなのか、使用過程において通常加わらないような応力が作用したことによるものなのかは、確認できなかった。
227	自転車用幼児座席	購入して3カ月も経たないうちに自転車用幼児座席の足乗せ部が破損した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品の足乗せ部は、購入時には所定の強度を有していたが、使用の過程で加わる力により、足部移動制限装置の前側に繰り返し曲げ応力が集中したため亀裂が進展し、その後、何らかの過大な曲げ応力によって変形し、破断に至ったと考えられた。なお、各部の溶着範囲にばらつきはあったが、これが変形、破損に至った原因かどうかの断定はできなかった。
228	ベビーカー	ベビーカーのベルトの留め具が折れたため、子どもがベビーカーから落ちそうになった。留め金の強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品の留め具には成型不良と考えられるような箇所はみられず、苦情同型品の留め具の強度に問題がなかったことから、苦情品の破損原因は不明である。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
229	キックスケーター	キックスケーターの各部のネジが外れやすく、新品に交換してもらったが同様にネジが外れ、前車輪が取れて使用していた4歳児がけがをした。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品による走行耐久性試験で段差がない場合は、前車輪の車軸を固定するボルトが緩んだこと、また、段差がある場合では全ての車体が破損することが確認された。
230	住宅構成材	新築住宅にもかかわらず、毎日白い粉のようなものが多く出る。乳児がいるので人体への影響が心配だ。白い粉を集めたので、その成分に問題がないか調べてほしい。特にホウ酸が含まれているか。	白色片の主成分はセルロースであると考えられた。元素分析を行ったところ、炭素と酸素以外にアルミニウムとマグネシウムが含まれていたが、ホウ酸の構成元素であるホウ素は検出されなかった。
231	瓦	8年前に新築した屋根瓦の破片が落下してくるので、これまでに2回修繕した。半年前から鋭利な破片が落下してくるようになり危険である。瓦の強度に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品の中には購入時点で既に破損しているものが20枚中2枚あったものの、テストに供した苦情品及び苦情同型品ではJIS規格の強度などの基準を満たしていた。相談者宅では実際に約0.7kgの破片が落下していたことから、日本の住宅事情では住宅密集地や軒下に人がよく往来する場所なども多いので、苦情品の施工は避けたほうが良いと考えられる。
232	樹脂波板(建築材料)	2年半ほど前に購入した樹脂波板の屋根が1年後くらいから変形してきた。波板の材質を調べてほしい。	変色、変形が見られた苦情品の樹脂波板の材質をフーリエ変換-赤外分光光度計 (FT-IR) を用いて調べたところ、ポリ塩化ビニルを主原料としたものであった。
233	ヒートポンプ給湯器	新築の家に昨年入居した。風呂を追い炊きすると浴槽の底に焦げ茶色のぬめり物質が沈むため、部品を交換してもらったが、改善されない。ぬめり物質が何か調べてほしい。	相談者が採取したぬめり物質を調べたところ、主な成分はたんぱく質であり、その中に繊維や花粉の殻や花粉内容物がみられた。苦情品は、追い炊き時に貯湯タンクのお湯とお風呂のお湯が混ざらない構造となっているため、ぬめり物質は、追い炊き経路に付着し蓄積した湯あかが、追い炊き時、風呂水が循環した時の衝撃で剥がれ出てきたものであると考えられた。
234	電気床暖房	2年前に新築した自宅のリビングで人に触れるとピリピリとした電気を感じる。電気床暖房のブレーカーを落とすとこのようなことは起きない。この現象の原因を調べてほしい。	本現象は床面に発生した電位差によって、その場所にいる人の間にも電位差が発生し、他の人に触れた時点で微少な電流が流れ、電気を感じたものと考えられる。なお、配電盤内の電気床暖房用の3つのブレーカーの位置を変更して、供給される電圧波形(位相)を一致させると、電気を感じなくなったことから、電位差が発生した原因は電気床暖房に異なる位相の電圧が供給されていたことによると考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
235	ユニット洗面台	3年9カ月前に設置した洗面台の鏡に付いているプラスチックの下の部分が破損した。原因を調べてほしい。	苦情品の下部のプラスチックは、鏡に付いた薬剤などが垂れて溜まったことが原因でソルベントクラック（溶剤亀裂）を生じたため脆くなり、三面鏡（開き扉の構造）の開閉の際の衝撃（外力）や何らかの応力などによって段階的に亀裂が成長し、破損に至ったと考えられる。
236	ハウスクリーニング	浴室のハウスクリーニング後から風呂に入るとひどい塩素臭がし、鼻や喉が痛くなった。再度洗浄してもらったが、まだ風呂に入るたびに喉が痛くなる。浴室内の塩素濃度を調べてほしい。	浴室の塩素臭及び塩素濃度を調べたところ、湯船に湯を張った状態でも塩素臭はわずかに感じられる程度で、検知管で確認された塩素濃度も低かった。ハウスクリーニング後、さらに洗浄が2回実施されたこと、日数が経過していることなどから、浴室内の塩素臭、塩素濃度はかなり低いレベルになっていると考えられた。

商品テスト分・評価委員会 委員名簿

●委員（敬称略）

氏名	所属及び役職
阿南 久	全国消費者団体連絡会 事務局長
石川 正美	神奈川大学 法学部 教授
井部 明広	実践女子大学 生活科学部 食生活科学科 教授
小川 武史	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科 教授
熊谷 なほみ	公益社団法人 全国消費生活相談員協会 消費生活専門相談員
小山 晴樹	弁護士
谷口 哲夫	独立行政法人 交通安全環境研究所 エグゼクティブ・リサーチャー
長田 三紀	特定非営利活動法人 東京都地域婦人団体連盟 事務局次長
沼尻 禎二	財団法人 家電製品協会 家電製品 PL センター 次長
早川 哲夫	麻布大学 生命・環境科学部 教授
平野 裕之	慶應義塾大学 大学院 法務研究科 教授
本城 昇	埼玉大学 経済学部 教授
渡辺 実	弁護士

●分科会・専門委員（敬称略）

氏名	所属及び役職
相川 潔	くるま総合研究会 代表
牛山 博文	東京都健康安全研究センター 食品化学部 食品成分研究科長
梅垣 敬三	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 情報センター センター長
斉藤 弘和	独立行政法人 農林水産消費安全技術センター 消費安全情報部 交流技術課 課長
小澤 明	東海大学 医学部 専門診療学系 皮膚科学 教授
小野田 元裕	財団法人 日本車両検査協会 東京検査所 所長
加藤 登	財団法人 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 試験室長
河内 憲治	一般財団法人 日本文化用品安全試験所 製品性能部 次長
木村 宇一郎	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部 安全性情報課 課長
合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 部長
佐久間 義則	財団法人 日本食品分析センター 業務部 お客様サービス部 部長
西田 佳史	独立行政法人 産業技術総合研究所 臨海副都心センター デジタルヒューマン工学研究センター 生活・社会機能デザイン研究チーム長
藤倉 秀美	一般財団法人 電気安全環境研究所 製品認証部長
堀口 逸子	順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 助教
松原 美之	総務省消防庁 消防大学校 消防研究センター 所長
本屋 和男	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 製品安全技術課 課長
山中 龍宏	緑園こどもクリニック 院長

平成23年度 商品テスト分析・評価委員会及び分科会実施状況一覧

	年月	委員会・分科会	品目等
1	平成23年5月	車両・乗り物関連分科会	「ロアアーム・ボールジョイントの不具合に係わる要望等」(案)
2	平成23年6月	食品・化学品関連分科会	ブライダルエステで危害発生！－施術を受ける際には、時間的な余裕を持って－(案)
3	平成23年6月	食品・化学品関連分科会	小麦加水分解物を含有する「旧茶のしずく石鹸」(2010年12月7日以前の販売分)による危害状況について－アナフィラキシーを発症したケースも－(案)
4	平成23年7月	食品・化学品関連分科会	小麦加水分解物を含有する「旧茶のしずく石鹸」(2010年12月7日以前の販売分)による危害状況について－アナフィラキシーを発症したケースも－(案)
5	平成23年7月	食品・化学品関連分科会	比較的安価な放射線測定器の性能(テストデザイン)
6	平成23年7月	車両・乗り物関連分科会	子どもを自転車に乗せたときの転倒に注意！(テストデザイン)
7	平成23年7月	本委員会	国民生活センターの在り方の見直しに係わるタスクフォース 商品テスト部の業務 平成22年度商品テスト結果および「相談解決のためのテストから」の公表について
8	平成23年8月	家電・住居品関連分科会	家庭用電動工具の使い方に注意！－指の切断や内臓損傷の事故も－(テストデザイン)
9	平成23年8月	食品・化学品関連分科会	比較的安価な放射線測定器の性能(案)
10	平成23年8月	食品・化学品関連分科会	アートメイクの危害
11	平成23年8月	車両・乗り物関連分科会	子どもを自転車に乗せたときの転倒に注意！(案)
12	平成23年10月	家電・住居品関連分科会	家庭用電動工具の使い方に注意！－指の切断や内臓損傷の事故も－(案)
13	平成23年10月	家電・住居品関連分科会	電気ロースターの商品テスト報告書(案)
14	平成23年11月	食品・化学品関連分科会	歯科インプラント治療に係る問題－身体的トラブルを中心に－(案)
15	平成23年11月	家電・住居品関連分科会	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意！(テストデザイン)
16	平成23年11月	食品・化学品関連分科会	比較的安価な放射線測定器の性能－第2弾－(案)
17	平成23年11月	家電・住居品関連分科会	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意！(テストデザイン)
18	平成23年11月	食品・化学品関連分科会	歯科インプラント治療に係る問題－身体的トラブルを中心に－(案)
19	平成23年12月	食品・化学品関連分科会	コンタクトレンズの破損(テストデザイン)
20	平成23年12月	家電・住居品関連分科会	薄型テレビの転倒防止対策の重要性(テストデザイン)
21	平成23年12月	食品・化学品関連分科会	水でぬらすだけで冷感が得られることをうたったタオル－湿疹・かぶれの原因となることも－(案)
22	平成24年1月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーの性能(テストデザイン)

23	平成 24 年 1 月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーの性能（テストデザイン）
24	平成 24 年 1 月	車両・乗り物関連分科会	「電動スクーター」による重大事故の原因究明（案）
25	平成 24 年 1 月	家電・住居品関連分科会	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意！（案）
26	平成 24 年 1 月	食品・化学品関連分科会	個人線量計（テストデザイン）
27	平成 24 年 2 月	車両・乗り物関連分科会	「自転車 1」の重大事故の原因究明（案）
28	平成 24 年 2 月	車両・乗り物関連分科会	「自転車 2」の重大事故の原因究明（案）
29	平成 24 年 2 月	家電・住居品関連分科会	薄型テレビの転倒防止対策の重要性（テストデザイン）
30	平成 24 年 2 月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーの性能（案）
31	平成 24 年 3 月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーの性能（案）
32	平成 24 年 3 月	車両・乗り物関連分科会	自動車用緊急脱出ハンマーの性能（案）
33	平成 24 年 3 月	食品・化学品関連分科会	商品テスト「オガ炭」の結果とその評価、一酸化炭素中毒について

外部試験機関へ委託したテスト

・ 定型的テスト

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
1	紳士サンダルで滑って転倒	耐滑試験	JIS T 8101「安全靴」
2	ベビーカーのベルトの留め具が折損	シートベルトの強度試験	SG 基準「乳母車」
3	黒い毛ぼこりが発生するカーペット	ファイバーバインド試験機による遊び毛の量の測定	JIS L 1021-15「繊維性床敷物試験方法 第15部：ファイバーバインド試験方法」
4	背もたれの接合部分から折れた組み立て椅子	強度試験	JIS S 1203「家具—いす及びブストゥール—強度と耐久性試験方法」
5		耐久試験	
6		耐衝撃性試験	
7		再現テスト	
8	使い捨てカイロを入れていたら低温やけどになったポケット付きの腹巻き	温度特性試験	JIS S 4100「使い捨てカイロ」
9	胎児の正常な発育に役立つ「葉酸」を摂取できるとうたった健康食品	葉酸の定量①	栄養表示基準
10		葉酸の定量②	
11		葉酸の定量③	
12		葉酸の定量④	
13		葉酸の定量⑤	
14		崩壊試験①	日本薬局方（15改正）
15	崩壊試験②		
16	不織布から金属製のノーズワイヤが突き出るマスク	不織布の厚さ	JIS T 1913「一般不織布試験方法」
17		不織布の突刺抵抗性	JIS T 8501「防護服—機械的特性—突刺抵抗性試験方法」
18	品質が疑われた軽油	灯油の品質確認	JIS K 2204「軽油」
19	手荒れが疑われたボディソープ	皮膚一時刺激性試験	OECD TG 404
20	使用したらフロントガラスに傷がついた自動車用ガラスクリーナー	粒子の硬さ	JIS R 1639-5「ファインセラミックス—顆粒特性の測定方法」
21	ミネラル成分の溶出が極めて少ない入浴剤	鉍石成分の同定	JIS K 0119「蛍光X線分析通則」
22		けい素の含有量	JIS G 1322-1「金属けい素分析方法」
23	水に濡らして使用するタオルによる皮膚障害	抗菌剤（MCIT、MIT）の定量	医薬部外品原材料規格 2006

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
24		皮膚一次刺激性試験	OECD TG 404
25	スポークが破断した自転車	引張り強度試験	JIS D 9420「自転車用スポーク」
26	子どもが使用することのあるアクセサリーに関する調査結果（2011年）	カドミウム、鉛の溶出	食品衛生法
27	紳士ズボンの破損	引張り強さと伸び率	JIS L 4096「織物及び編物の生地試験方法」
28	底が抜けたフライパン	熱衝撃試験	SG 基準「IH 調理器具」
29	引きつれや毛玉ができたトレーニングウェア	ピリング試験	JIS L 1076「織物及び編物のピリング試験方法」
30		スナッグ試験	JIS L 1058「織物及び編物のスナッグ試験方法」
31	水で希釈するチェーンソー用オイルによるタンクの穴開き	オイル分析	JIS K 2283「原油及び石油製品—動粘度試験方法及び粘度指数算出方法」 JIS K 2234「不凍液」 JIS K 2275「原油及び石油製品—水分試験方法」
32	携帯用魔法瓶の飲み口の塗料の剥がれ	印刷塗装の密着性	JIS S 2053「ステンレス鋼製まほうびん」 8.8 印刷塗装の密着性
33	吸引力が低下した電気掃除機	吸込仕事率試験	JIS C 9108「電気掃除機」
34	ラジウム温泉と同等になるとうたった浴用岩石と岩塩	ラドン濃度	鉱泉分析法指針
35	指圧効果をうたったサポーターで化学やけど	ホルムアルデヒド、pH	有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
36	顔に湿疹ができた化粧品（クレンジング）	皮膚一次性刺激試験	OECD TG 404
37	自転車用幼児座席の足乗せ部の破損	断面 硬さ分布測定	JIS Z 2252「ビッカース硬さ試験方法」
38		定量分析	JIS K 0132「走査電子顕微鏡試験方法通則」
39	転倒しやすい子ども靴	耐滑試験（動摩擦係数、静摩擦係数）	JIS T 8101「安全靴の耐久性」 JIS P 8147「紙及び紙板—静及び動摩擦係数の測定方法」
40	亀裂が入ったガラステーブル	組成分析	JIS K 0119「蛍光 X 線分析方法通則」
41	雨漏りしたテント	雨水の侵入に対する抵抗試験	CPSA0100「キャンプ用テント」
42		生地への対水圧試験	CPSA0101「キャンプ用テント」
43	組成表示に問題があった紳士セーター	混用率測定①	JIS L 1030-2「繊維製品の混用率試験方法」
44		混用率測定②	JIS L 1030-3「繊維製品の混用率試験方法」
45	点火しなくなった灯油	品質調査	JIS K 2203「灯油」

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
46	色落ちしたガラスの色の成分	鉛・カドミウム溶出試験	食品衛生法
47	ソフトコンタクトレンズ用保存液中の黒い異物 死亡原因と疑われたペットフード	一般細菌数及びカビ数	衛生試験等
48		急性毒性試験	OECD TG 420
49		カビ毒試験	愛玩動物用飼料の成分規格等に関する省令
50	100%濃縮還元が表示が疑われたオレンジジュース	食中毒菌及び毒素試験	(食品衛生法の手法に準ずる)
51		糖用屈折計示度(糖度)	JAS法
52		糖類定量試験	栄養表示基準
53		安定同位対比分析	欧州連合、果実と野菜原料によるジュース及びネクター製造業協会規格
54	作業用革手袋で皮膚障害	六価クロムの定量	日本エコレザー基準
55	ソフトコンタクト消毒剤の専用ケースに黒い異物が発生	消毒液のカビ数	衛生試験法等
56	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意!	材質分析(定量分析)	JIS「鉄及び鋼定量方法」
57		腐食促進試験(サイクル試験)	JIS「耐食性試験」
58	新築マンションのシステムキッチンのステンレス製流し台にさびが発生	水道水調査	水道法試験
59		材質分析(定量分析)	JIS「鉄及び鋼定量方法」
60		腐食促進試験(サイクル試験)	JIS「耐食性試験」
61	システムキッチンのステンレス製流し台にさびが発生	水道水調査	水道法試験
62		材質分析(定量分析)	JIS「鉄及び鋼定量方法」
63		腐食促進試験(サイクル試験)	JIS「耐食性試験」
64	ステンレス製流し台が、購入1カ月でさびが発生	水道水調査	水道法試験
65		材質分析(定量分析)	JIS「鉄及び鋼定量方法」
66		腐食促進試験(サイクル試験)	JIS「耐食性試験」
67	乳幼児用ハイチェアに座っていたところ、ダイニングテーブルを蹴り転倒し負傷	安定性試験(前後左右方向)	SG認定基準
68	節水型の洗濯乾燥機を使用した洗濯物がすすぎで白濁する理由	界面活性剤の測定	水道法

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
69	石油ファンヒーターの故障が疑われた灯油の品質	品質調査	JIS K 2203「灯油」
70	キックスケーターの前輪が外れ負傷	水平強度試験	SG 認定基準(SG CPSA 0123)
71		伸縮試験	SG 認定基準(SG CPSA 0124)
72		走行耐久性試験(段差あり)	SG 認定基準(SG CPSA 0124)
73	羽根枕から出てきたフェザーで顔面に傷	生地を通気性試験	ふとん地流通協会「羽毛がわ生地」
74		繊維品質	全日本寝具寝装品協会「羽毛布団」
75		羽毛の組成混合率	JIS L 1903「羽毛試験方法」
76		羽毛のフェザー分類	日本羽毛製品協同組合
77	消火する石油ファンヒーターの原因と疑われた灯油の品質	品質調査	JIS K 2203「灯油」
78	携帯電話用充電器の電源コード被膜に亀裂	組成測定	JIS K 0117「赤外線分光分析方法通則」 JIS K 0124「高速液体クロマトグラフィー通則」
79	携帯電話用充電器の電源コード被膜がはく離	組成測定	JIS K 0117「赤外線分光分析方法通則」 JIS K 0124「高速液体クロマトグラフィー通則」
80	椅子の背もたれ支持部の破損	硬度測定	JIS Z 2252「ビッカース硬さ試験方法」 JIS S 1203「家具—椅子及びビストゥール—強度と耐久性の試験方法」
81		座面及び背もたれの静的強度試験	
82		背もたれの耐久性試験	
83		背もたれの耐衝撃性試験	
84	染毛料によるかぶれ	皮膚一次刺激性試験	ISO 10993-10

・専門的テスト

	テーマ	項目名
1	加圧を利用したスパッツの使い方に注意！	衣服圧研究会の方法に準拠したテスト、測定用ダミーによる衣服圧測定
2		着用時の衣服圧測定
3		着用時の筋組織内の酸素動態測定
4		着用感の調査（モニターテスト）
5	自転車の前かごステーが折損	破断面の観察
6	ベビーカーのベルトの留め具が折損	破断面観察
7	黒い毛ぼこりが発生するカーペット	においの原因物質の成分分析
8		掃除機による遊び毛の量の測定
9	塗料による塗装で異臭	におい物質の調査
10		ホルムアルデヒドの測定
11	薬品臭が疑われた冷凍の焼き鳥（もつ）	臭気成分分析（GC/MS）
12	ステロイドの含有が疑われた化粧品	ステロイド成分の測定
13	自動車のアクセルペダルの折損	破面観察
14	ミネラル成分の溶出が極めて少ない入浴剤	鉱石からの溶出（陰イオン成分）
15	ステロイドの含有が疑われた保湿クリーム	ステロイド成分の分析
16	使用中粉々に割れたガラス製の鍋蓋	破面観察
17		歪み測定
18		熱衝撃試験
19	つまみが取れて落下したガラス製の鍋蓋	破面観察
20	比較的安価な放射線測定器の性能	測定機器の性能
21	ベッドの木材から虫が発生	木材内部の調査
22	底が抜けたフライパン	組織観察（エッチング処理）

	テーマ	項目名
23	運動靴のソールの剥がれによる転倒の危険	接着剤の分析
24	電子レンジ加熱でプラスチック容器から異臭	におい成分の分析
25	雨靴（婦人用レインブーツ）で滑って転倒し負傷	材質調査
26	自転車用幼児座席の足乗せ部の破損	破面マクロ観察
27		破面SEM観察
28		溶着部の金属組織試験
29		総合解析
30	亀裂が入ったガラステーブル	破面観察
31		ひずみ観察
32	海外土産の菓子（チョコレート）に混入していた虫	虫の同定
33	放射性岩石の空間放射線量	空間放射線量率の測定
34	測定値が疑わしい放射線測定器	測定機器の性能
35	比較的安価な放射線測定器の性能－第2弾－	測定機器の性能
36	古米の混入が疑われた新米	米の鮮度測定
37	水でぬらすだけで冷感が得られることをうたったタオル	抗菌剤（OIT、MI、CMI）の定量
38	アリの捕獲されないアリ用駆除剤	誘引性試験
39	電気バリカンの刃が飛び頭皮を負傷	破面観察
40		FT-IR 分析
41	ソフトコンタクトレンズ用保存液中の黒い異物	異物検査
42	カーナビゲーションのリチウム電池の膨張	苦情品及び同型品によるテスト及び分解調査
43	細かな繊維が舞って使用できないこたつ敷布団	遊び毛の評価試験
44	ソフトコンタクト消毒剤の専用ケースに黒い異物が発生	異物検査
45	システムキッチンのステンレスシンクのさびに注意！	材質分析(PMI 分析)
46	電動アシスト自転車のサドルのスプリングが破損したため転倒し負傷	破面観察

	テーマ	項目名
47	新築マンションのシステムキッチンのステンレス製流し台にさびが発生	材質分析（PMI 分析、現地調査）
48		材質分析（PMI 分析）
49	システムキッチンのステンレス製流し台にさびが発生	材質分析（PMI 分析、現地調査）
50		材質分析（PMI 分析）
51	ステンレス製流し台が、購入 1 カ月でさびが発生	材質分析（PMI 分析、現地調査）
52		材質分析（PMI 分析）
53	運動靴のミッドソールの経年劣化	ミッドソールの分析
54	自転車用空気入れの握りが破損し顔面を負傷	金属部破面観察
55		樹脂部破面観察
56	ストラップが破損したモバイル端末のケースの材質に関する疑い	破断面観察
57		皮革の観察（断面観察）
58		塗装膜厚測定
59	羽根枕から出てきたフェザーで顔面に傷	生地密度の測定
60	椅子の背もたれ支持部の破損	金属部破面観察
61		金属組織試験
62	牛革表示に問題があったかばん	皮革の判別（断面観察）①
63		皮革の判別（断面観察）②
64	薄型テレビの転倒防止対策の重要性	地震波による振動試験
65		一般消費者へのアンケート

※平成 23 年度からは、公表案件、相談解決のためのテスト以外のテストに関する外部委託案件も含む

消費生活センターの商品テスト事例

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
1	鶏卵の品質	テスト項目：たんぱく質量、脂質量、卵重、卵黄の色、鮮度、官能試験、価格、表示	北海道立消費生活センター
2	もずく酢の固形分	テスト項目：内容量、固形分、価格、表示	北海道立消費生活センター
3	食塩のミネラル	テスト項目：塩分、ミネラル、水分、官能試験、価格、表示	北海道立消費生活センター
4	市販水の比較テスト	テスト項目：ミネラル、硬度、pH、異物検査、官能試験、価格、表示	北海道立消費生活センター
5	ドックフードの残留農薬と酸化防止剤	テスト項目：残留農薬(グリホサート、クロルピリホスメチル、ピリミホスメチル、マラチオン、メタミドホス)、酸化防止剤(エトキシキン、BHA、BHT)、価格、表示	北海道立消費生活センター
6	使いすてカイロ	身体を温める道具として手軽な使いすてカイロは、お年寄りをはじめ多くの方々に利用されており、各部位専用の様々な種類のカイロが販売されている。しかし、不注意や誤使用で低温やけどになる事故が報告されている。これら低温やけど事故をなくすために、様々な使いすてカイロについて、その特徴、正しい使用方法について調査した。	岩手県立県民生活センター
7	遮光カーテンの遮光等級	遮光 1 級と表示されているカーテンが想像以上に光が入るとの相談があり、相談品及び他社製品の遮光等級を試買し、表示どおりの性能の有無を商品テストすることとした。【テスト項目：遮光性試験(JIS L 1055 A 法)】	群馬県消費生活センター (群馬県生活文化部消費生活課)
8	フッ素樹脂加工したフライパンのテスト	フッ素コーティングは、何度まで耐熱性があるのか。ガスの発生はあるか。 項目：耐熱温度、発生ガスの定性	かながわ中央消費生活センター
9	柔軟剤のにおいの強さの比較調査	においの強さはどれ位か。 項目：類似度、臭気寄与度、臭気指数相当値	かながわ中央消費生活センター
10	ヒートポンプ給湯器の調査	騒音レベルはどの位か。 低周波電磁界の発生はあるか。 項目：騒音レベル、低周波電磁界	かながわ中央消費生活センター
11	カセットこんろ	カセットこんろは、鍋料理やアウトドア商品として、一般家庭で広く使用され、災害時などの緊急物資としても普及しているが、一方で、カセットこんろによるやけどや火災などの事故が依然として発生している。そこで、北陸3県の消費生活(支援)センター共同で、一般的に家庭で使用されている出力のカセットこんろの安全性(燃焼状態、ガス漏れの有無、各部の温度など)や性能(ガス消費量、燃焼時間など)のテストを実施した。	※富山県消費生活センター ※石川県消費生活支援センター ※福井県消費生活センター
12			
13			
14	食酢と食酢を使った食品	食酢が従来の調味料としての利用の他に、健康飲料としても注目され、価格も種類も様々な商品が市販されている。そこで、石川県生活研究グループ協議会と共同でアンケート調査や官能・成分テストを実施した。	石川県消費生活支援センター
15	ポット型浄水器	冷蔵庫のポケットに収納できる簡易なポット型浄水器について、ろ材成分や浄水能力等のテストを実施した。なお、23年度には、実際に数ヶ月使用しての実用テストを実施する予定である。	石川県消費生活支援センター
16	洗濯用洗剤	多種多様の粉末洗剤や液体洗剤が販売されている。これらの表示や使用量、汚れ落ち具合などをテストした。	福井県消費生活センター

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
17	ミネラルウォーター	多くの消費者に安心やおいしさが求められているミネラルウォーターについてミネラル成分(ナトリウム、カルシウム、マグネシウム、カリウム)の含有量を調査した結果、銘柄により含有量に大きな違いがあったが、栄養成分表示のとおり含まれていた。	静岡県環境衛生科学研究所
18	サプリメント	利用者の多いマルチビタミン、ビタミンB群主成分のサプリメントに含有されるビタミンB6量について調査した結果、ビタミンB6量は商品に記載されているとおりの量が含まれていた。	静岡県環境衛生科学研究所
19	アロマ製品	近年、アロマセラピーが注目され、様々なアロマオイルが販売されているため、ラベンダーの香りのあるアロマオイルの含有成分とその香りの特徴などを調査した。その結果、ラベンダーの香り主成分は、リナロールであり、リナロール以外の香り成分の種類や含有量は、商品により異なっていた。	静岡県環境衛生科学研究所
20	電子レンジの正しい使い方	電子レンジのトラブル体験及び使用実態についてアンケートを実施し、その結果を参考に、食品の少量加熱や食品カスによる発火、食品破裂による庫内損傷の再現性など正しい使い方についての啓発テストを実施した。	兵庫県立健康生活科学研究所 生活科学総合センター
21	手動発電式ラジオのハンドル形状	手動発電ラジオのハンドルを回していると指がハンドルにあたり赤く腫れたという相談が寄せられたため、同種商品6銘柄を試買し、操作性のモニターテストを実施した結果、当該品は先端の形状など安全性の配慮が必要と確認されたため、設計等の改善を要望。	兵庫県立健康生活科学研究所 生活科学総合センター
22	蜂蜜の品質	苦情処理テストの比較のため。1点購入。	熊本県環境生活部県民生活局消費生活課 (熊本県消費生活センター)
23	肌着の吸水・速乾性	「吸水・速乾の表示のある肌着を購入したが、まったく汗を吸わない」という相談を受け、滴下法により吸水速度のテストを実施。比較のため肌着4点を購入。(昨年度、バイレック法で吸水速度のテストを実施。)	熊本県環境生活部県民生活局消費生活課 (熊本県消費生活センター)
24	幼児用衣料品及び小物のホルムアルデヒドについて	「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」で24ヶ月以内の乳幼児が使用する衣類からホルムアルデヒドが検出されはならないと定められているが、乳幼児用品専門店をはじめとする小売店で販売されている乳幼児用衣料品や小物からホルムアルデヒドが検出されないかのテストを行った。	札幌市市民まちづくり局市民生活部 消費者センター
25	電子タバコの吸い口部分の加熱について	電子タバコは熱を利用する機器であり、連続吸引には適さない商品であるが、タバコの特性上連続吸引する可能性があることから、別銘柄の6品を購入し、安全性についてテストを行った。	札幌市市民まちづくり局市民生活部 消費者センター
26	ホームベーカリー	主なテスト項目(表示、騒音、使いやすさ、材料費、食味評価)	横浜市消費生活総合センター
27	チャイルドロック機能があるウォーターサーバー	コックの締め付けと緩みについて	相模原市北消費生活センター
28	オイルヒーターの臭い	臭いの確認(臭いの強さ)(臭いの種類)(臭いの不快感)、発生する化学物質の測定(ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン、テトラデカン、TVOC、N-ブタノール)	相模原市北消費生活センター
29	米粉麺試買調理テスト	米粉麺に関するアンケート及び店頭調査 米粉麺を調理・試食し、食味と価格の評価	新潟市消費生活センター
30	非常食の比較テスト	非常食を備える際の参考になるように、そのまま水で食べることができ、主食となる非常食の特徴を示すために、表示、重量、使用性、食味等についてテストを行った。	福岡市消費生活センター
31	のど飴	糖分・キシリトール	函館市消費生活センター

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
32	加工食品(カップめん)	手軽に食べられる、カップめんの商品が数多く販売されている。健康に気を使うようになり、表示内容が目につく。そこで食品表示基準に従った表示確認、計量の測定、塩分濃度の測定を18種類のカップめんを用いて調べた。	苫小牧消費者センター
33	食用油の劣化テスト	家庭で1~5回、使った食用油25点(揚げた食材の量、種類などの詳細は不明)の劣化の程度を調べるため、酸価と過酸化価を測定した。過酸化価のテストについては、北海道消費者協会の商品テスト部に依頼した。	苫小牧消費者センター
34	清涼飲料水の糖度テスト	清涼飲料水には、意外に糖分が多く含まれている。そこで無糖・カロリーオフ・低糖といった商品や地元の食品を含めた35点について、糖度を調べた。	苫小牧消費者センター
35	プチ加湿器の加湿量テスト	最近、小型加湿器が赤ちゃんのいる若い親たちに利用されているようである。どの程度効果があるものか加湿方法の異なる3種類の商品で試みた。	苫小牧消費者センター
36	試買量目調査	試買量目調査(魚介類)	上砂川町消費生活センター
37	試買量目調査	試買量目調査(肉類)	上砂川町消費生活センター
38	試買量目調査	試買量目調査(野菜・海藻)	上砂川町消費生活センター
39	着用時の衣服圧	加圧パンツを購入して初めてはいて草むしりをしたところ、足の感覚異常をおこした。着用時の衣服圧の調査。	船橋市消費生活センター
40	テーブルタップ	テーブルタップの発煙の原因究明	木更津市消費生活センター
41	折りたたみ自転車(輸入品)	折りたたみ自転車にて走行時の事故の原因究明	木更津市消費生活センター
42	加工食品中の天然色素の抽出	加工食品に使用されている既存添加物の色素はどのようなものが多いか、また表示記載されているものと同じものかなどを確認した。一昨年の指定添加物の色素に続くシリーズ。	豊島区消費生活センター
43	食品試買会	食料品の小売り段階における計量の実態を把握し、消費者及び商店に正確計量の重要性を認識してもらうため、野菜、果物、食肉加工品、茶、惣菜、水産加工品、食肉を対象とした。	藤枝市消費生活センター
44	パソコンのUSBから電源を取るひざ掛け	パソコンのUSBから電源を取るひざ掛けを使用していたら、パソコンが故障した。電気ひざ掛けに問題がないかの原因調査。	牧之原市消費生活センター
45	皮膚の塗り薬の表示分量と正味重量	メーカーより空チューブ10本を取寄せ相談者の目前で計測し、商品と重量差を確認。正味重量に問題がないと納得された。しかし容器の材質が他社に比べ固い為、最後まで絞り出せず1~2g残るとわかり、容器を柔らかい材質にかえてもらうようメーカーに要望。	草津市消費生活センター
46	付け爪接着剤の成分調査	付け爪接着剤を使用していたら、脆く欠けやすい爪が生えてきた。安全性に問題はなかったかの成分調査をした。	行橋市消費生活センター

※：共同テスト

○業務別決算額（決算報告書）（単位：円）

区 分	平成22年度					平成23年度					対前年度増△減額		
	支出決算額	収入決算額	図書雑誌出版	研修宿泊	事業外	収入決算額	支出決算額	図書雑誌出版	研修宿泊	事業外	収入決算額	支出決算額	収入決算額
			収入	収入				収入	収入				
業務	2,461,568,116	179,638,392	155,681,182	23,957,210	0	2,282,617,738	150,180,005	101,683,452	18,762,620	0	△ 178,950,378	△ 29,458,387	
広報業務	160,527,969	130,898,479	130,898,479	0	0	141,437,271	98,814,569	98,814,569	0	0	△ 19,090,698	△ 32,083,910	
情報・分析業務	1,578,347,640	0	0	0	0	1,165,390,314	0	0	0	0	△ 412,957,326	0	
相談業務	213,687,290	1,342,970	1,342,970	0	0	245,361,895	910,360	910,360	0	0	31,674,605	△ 432,610	
商品・サービス業務	141,757,931	1,010	1,010	0	0	277,503,205	0	0	0	0	135,745,274	△ 1,010	
研修業務	92,903,903	23,957,210	23,957,210	23,957,210	0	84,162,407	18,762,620	18,762,620	0	0	△ 8,741,496	△ 5,194,590	
企画調整業務	222,264,599	23,438,723	23,438,723	0	0	294,142,801	31,692,456	1,958,523	0	0	71,878,202	8,253,733	
A D R 経費	52,078,784	0	0	0	0	74,619,845	0	0	0	0	22,541,061	0	
一般管理費	220,687,041	35,181,357	35,181,357	0	35,181,357	209,997,336	24,287,732	0	0	24,287,732	△ 10,689,705	△ 10,893,625	
人件費	1,252,025,523	0	0	0	0	1,234,402,166	0	0	0	0	△ 17,623,357	0	
役員員給与	976,365,218	—	—	—	—	972,776,212	—	—	—	—	△ 3,589,006	—	
法定福利費	125,497,305	—	—	—	—	124,334,354	—	—	—	—	△ 1,162,951	—	
退職手当	150,163,000	—	—	—	—	137,291,600	—	—	—	—	△ 12,871,400	—	
	3,934,280,680	214,819,749	155,681,182	23,957,210	35,181,357	3,727,017,240	174,467,737	101,683,452	18,762,620	24,287,732	△ 207,263,440	△ 40,352,012	

(注) 1. 決算額には前年度契約済繰越額を含み、翌年度契約済繰越額を含んでいない。
 2. 平成22年度決算額は、平成23年度決算額との比較対照のため組替え掲記している。

○対前年度決算額に対する主な増減内訳

区分	増減額 (単位：円)	主な増減内訳
業務経費	△ 178,950,378	
広報業務	△ 19,090,698	HP更新経費(△33,352千円)、固定資産取得費(HP機器)(△2,610千円)、HP運用支援(2,898千円)、出前講座委託費(6,285千円)、非常勤職員手当(4,152千円)、派遣職員(2,295千円)
情報・分析業務	△ 412,957,326	旧PIO-NET関係経費(△274,445)、事故情報DB構築(△193,809千円)、早期警戒システム構築(△92,062千円)、PIO-NET回線導入経費(△60,023千円)、PIO-NET2010ソフト改修(82,531千円)、医療機関NW委託費(41,949千円)、派遣職員(12,938千円)、CIO補佐官業務(10,054千円)、PIO-NET自然言語T-タ解析技法研究(18,287千円)、PIO-NET端末導入・賃借料(30,186千円)
相談業務	31,674,605	震災110番(13,551千円)、国民生活動向調査委託(6,074千円)、派遣職員(3,831千円)、土日休日相談運営(2,058千円)、7/24代賃金(1,296千円)
商品テスト業務	135,745,274	商品テスト機器購入費(157,802千円)、テスト機器・設備保守修繕(△11,984千円)、水道光熱費(△4,046千円)
研修業務	△ 8,741,496	図書費(2,927千円)、講師謝金(△8,314千円)、研修旅費(△2,350千円)
企画調整業務	71,878,202	消費生活相談専門家の巡回事業(68,416千円)、非常勤職員手当(5,130千円)、40周年事業経費(△3,657千円)
A D R経費	22,541,061	非常勤職員手当(14,978千円)、委員手当(4,524千円)、旅費(3,705千円)、弁護士謝金(△3,449千円)
一般管理費	△ 10,689,705	固定資産取得(△5,777千円)、派遣職員△3,385千円、総合管理業務(△983千円)

対前年度比較分析表

(単位:円)

【貸借対照表】	平成22年度①	平成23年度②	増減額 (②-①)	備 考 (単位:千円)
資産の部				
I 流動資産				
現金及び預金	9,640,179,889	3,448,671,514	△ 6,191,508,375	
有価証券	9,458,848,977	3,137,137,661	△ 6,321,711,316	不要財産国庫納付 (△5,836,781)
売掛金	116,027,628	243,140,339	△ 127,112,711	1年以内に満期となる有価証券 (H22:4口 (国債)、H23:8口 (国債))
たな卸資産	44,525,035	31,930,819	△ 12,594,216	くらしの豆知識 (△9,455)、国民生活 (△832)、リーフレット著作権 (△3,217)、その他 (出版物・施設利用) (911)
前払費用	11,629,047	33,844,031	22,214,984	くらしの豆知識 (21,280)
未収収益	1,911,240	1,967,240	56,000	
その他の未収入金	6,955,170	279,850	△ 6,675,320	定期預金 (△6,458)
	282,792	371,574	88,782	
II 固定資産				
1 有形固定資産				
建物	9,145,628,903	9,065,264,134	△ 80,364,769	
構築物	2,170,488,341	2,170,428,341	△ 60,000	
減価償却累計額	464,318,300	548,287,531	83,969,231	
構築物	878,789,641	876,148,641	△ 2,641,000	
減価償却累計額	546,164,445	583,476,644	37,312,199	
機械装置	104,046,583	97,146,324	△ 6,900,259	
減価償却累計額	100,188,815	94,559,899	△ 5,628,916	
車両運搬具	2,162,755	2,162,755	0	
減価償却累計額	1,938,690	2,054,617	115,927	
工具器具備品	889,306,784	1,061,514,424	172,207,640	新規取得 (226,136)、除却 (△53,929)
減価償却累計額	608,940,380	666,201,227	57,260,847	
リース資産(工具器具備品)	618,781,381	676,384,423	57,603,042	新規取得分 (65,677)、リース期間満了による除却 (△8,074)
減価償却累計額	140,479,952	267,944,856	127,464,904	
立木竹	4,084,000	4,004,000	△ 80,000	松1本
土地	6,340,000,000	6,340,000,000	0	
2 無形固定資産	252,000	252,000	0	
電話加入権	252,000	252,000	0	
3 投資その他の資産	137,019,082	10,000,000	△ 127,019,082	
投資有価証券	136,815,842	10,000,000	△ 126,815,842	1年以内に満期となる有価証券 (国債) が8口 (△243,140) あるため、商工債1口を除いて流動資産に計上、
長期前払費用	203,240	0	△ 203,240	
固定資産合計	9,282,899,985	9,075,516,134	△ 207,383,851	
資産合計	18,923,079,874	12,524,187,648	△ 6,398,892,226	

対前年度比較分析表

(単位:円)

【貸借対照表】	平成22年度①	平成23年度②	増減額 (②-①)	備 考 (単位:千円)
負債の部				
I 流動負債				
運営費交付金債務	9,615,687,799	3,314,796,500	△ 6,300,891,299	不要財産国庫納付 (△5,836,781)、前年度債務△922,715 (収益化 (△722,655)、資産見返負債振替 (△200,059))、23年度予算額債務計上 (3,143,540)、23年度債務△2,621,420 (収益化 (△2,595,343)、資産見返負債振替 (△26,077))
未払金	456,469,160	361,072,081	△ 95,397,079	業務経費関係 (△138,141)、一般管理費関係 (△735)、固定資産関係 (38,342)、退職金 (5,136)
未払費用	20,393,777	27,389,279	6,995,502	給与関係 (超勤、社会保険料事業主負担分) (6,245)、光熱水費 (350)、後納郵便料金 (130)
未払消費税等	2,076,500	1,146,500	△ 930,000	
前受金	812,400	829,200	16,800	
預り金	16,262,430	24,426,750	8,164,320	源泉所得税 (2,272)、地方税 (△200千円)、社会保険料 (6,084)
短期リース債務	120,452,969	138,089,127	17,636,158	23新規リース資産分 (17,796)
II 固定負債				
資産見返負債	749,852,931	773,382,682	23,529,751	
資産見返運営費交付金	386,542,839	495,230,026	108,687,187	
長期リース債務	363,310,092	278,152,656	△ 85,157,436	23取得運営費交付金債務振替 (226,136)、資産見返交付金戻入 (△117,449)
負債合計	10,365,540,730	4,088,179,182	△ 6,277,361,548	既存リース資産短期振替 (△120,622)、新規リース資産計上 (35,465)
純資産の部				
I 資本金				
政府出資金	9,166,546,650	9,166,546,650	0	
II 資本剰余金				
資本剰余金	△ 618,101,411	△ 737,291,505	△ 119,190,094	
損益外減価償却累計額 (△)	705,711,962	649,497,666	△ 56,214,296	
損益外減損損失累計額 (△)	△ 1,322,427,373	△ 1,385,403,171	△ 62,975,798	
資本剰余金合計	△ 1,386,000	△ 1,386,000	0	電話加入権分
III 利益剰余金				
積立金	9,093,905	6,753,321	△ 2,340,584	
当期未処分利益 (うち当期総利益)	7,690,822	9,093,905	1,403,083	
純資産合計	1,403,083	△ 2,340,584	△ 3,743,667	
負債純資産合計	1,403,083	△ 2,340,584	△ 3,743,667	リース会計による損益差額
	8,557,539,144	8,436,008,466	△ 121,530,678	
	18,923,079,874	12,524,187,648	△ 6,398,892,226	

対前年度比較分析表

(単位:円)

【損益計算書】	平成22年度①	平成23年度②	増減額 (②-①)	備 考 (単位:千円)
経常費用				
業務経費	3,455,909,231	3,094,695,561	△ 361,213,670	
給与手当	744,667,095	750,202,915	5,535,820	
退職給付費用	97,616,200	113,329,800	15,713,600	
法定福利費	113,360,744	116,400,951	3,040,207	職員分 (323)、非常勤職員等分 (2,717)
備品費	2,782,152	3,903,302	1,121,150	
交際費	0	0	0	
雑給	226,298,515	262,453,011	36,154,496	非常勤職員手当 (32,161)、ADR委員手当等 (4,793)
福利厚生費	2,313,972	2,743,130	429,158	
旅費	52,943,248	70,787,783	17,844,535	消費生活専門巡回・震災派遣事業関係 (11,250)、海外商品テスト機関視察 (2,261)、紛争解決委員会関係 (3,705)
会議費	711,876	560,331	△ 151,545	
賃借料	283,152,955	160,504,222	△ 122,648,733	旧PI0関係 (△125,769) (ホストコンピュータ (△99,916)、サーバ (△25,853))、PI0サーバ (△11,410)、HPサーバ (△2,205)
消耗品費	58,450,322	60,089,382	1,639,060	各地サーバ-PI0分 (3,058)
通信運搬費	145,549,886	161,861,240	16,311,354	PI0回線使用料 (9,710)、放射能測定器地方配備関係 (2,045)、震災110番関係 (924)
印刷製本費	31,656,531	12,873,904	△ 18,782,627	「くらしの豆知識」たな卸資産計上増 (15,526)
水道光熱費	30,869,280	25,032,895	△ 5,836,385	
交通費	3,105,890	2,690,581	△ 415,309	
外部委託費	765,358,838	574,476,882	△ 190,881,956	HP更新経費 (システム構築、サーバ移行) (△33,352)、出前講座委託費 (6,285)、事故情報DBシステム構築 (△193,809)、早期警戒情報システム構築 (△92,062)、PI02010回線導入改修 (△60,023)、消費者判例システム構築 (△5,736)、PI02010サーバウェア改修 (82,531)、C10補佐官業務 (10,054)、医療機関ネットワーク委託費 (28,949)、PI0自然言語解析技術研究委託 (18,287)、個人情報DB移行作業 (14,297)、PI02010端末導入経費 (13,247)、国民生活動向調査委託 (6,074)、外部委託 (2,737)、派遣職員 (10,996)
販売手数料	14,688,180	11,950,212	△ 2,737,968	「月刊国民生活」 (△1,871)、「くらしの豆知識」 (△653)
租税公課	87,900	75,400	△ 12,500	
保守・修繕費	407,006,471	278,233,005	△ 128,773,466	旧PI0関係 (端末・サーバ) (△74,887)、PI02010運用保守 (△74,129)、HP運用支援 (△2,650)、早期警戒システム (11,568)、PC-LAN保守 (7,141)、事故情報DB保守 (4,536)
支払手数料	10,685	13,845	3,160	
支払保険料	5,923,120	14,207,090	8,283,970	消費生活専門家巡回・震災派遣事業関係傷害保険 (7,181)
支払報酬	152,552,290	207,630,433	55,078,143	消費生活専門家巡回・震災派遣事業関係 (56,456)
図書費	18,289,486	20,266,256	1,976,770	「消費者六法」購入 (2,927)
その他	3,763,746	5,447,831	1,684,085	
減価償却費	294,749,849	238,961,160	△ 55,788,689	リース資産分 (△60,171)、リース以外分 (4,633)

対前年度比較分析表

(単位:円)

【損益計算書】	平成22年度①	平成23年度②	増減額 (②-①)	備 考 (単位:千円)
一般管理費	538,600,640	495,078,835	△ 43,521,805	
役員報酬	66,371,509	68,466,621	2,095,112	
給与手当	165,326,614	154,106,676	△ 11,219,938	
退職給付費用	52,546,800	23,961,800	△ 28,585,000	
法定福利費	28,895,399	27,416,513	△ 1,478,886	役員分 (△1,485)
備品費	961,623	508,809	△ 452,814	
交際費	145,687	155,103	9,416	
雑給	1,242,176	2,015,912	773,736	事務補助員賃金 (632)
福利厚生費	3,401,314	2,978,907	△ 422,407	健康診断 (△275)
旅費	920,304	1,592,650	672,346	
地代家賃	42,683,647	44,309,926	1,626,279	借上宿舍料 (1,103)、土地使用料 (522)
会議費	16,805	16,248	△ 557	
賃借料	344,126	317,299	△ 26,827	
消耗品費	6,712,390	6,862,020	149,630	
通信運搬費	3,128,629	3,082,910	△ 45,719	
印刷製本費	414,615	318,505	△ 96,110	
水道光熱費	13,655,957	13,899,950	243,993	
交通費	4,417,833	3,095,271	△ 1,322,562	マイカー料金 (△1,314)
外部委託費	76,393,695	72,306,531	△ 4,087,164	派遣職員 (△3,385)、総合管理業務 (相模原事務所) (△983)
租税公課	23,452,400	22,638,000	△ 814,400	納付消費税 (△719)、相模原事務所固定資産税 (△182)
保守・修繕費	24,528,533	23,359,264	△ 1,169,269	相模原事務所冷温水発生機器メンテナンスホール (H22年度繰越分) (△4,410)、電話交換機増設等工事 (東京事務所) (3,462)
支払手数料	2,359,180	2,856,515	497,335	
支払保険料	209,240	209,240	0	
支払報酬	3,941,426	3,780,750	△ 160,676	第三者調査委員会委員報酬 (△1,023)、産業医 (577)、法律コンサルタント (357)
図書費	1,578,403	1,583,125	4,722	
その他	1,808,990	1,560,240	△ 248,750	
減価償却費	13,143,345	13,680,050	536,705	
財務費用			0	
支払利息	12,101,170	8,333,165	△ 3,768,005	
経常費用合計	4,006,611,041	3,598,107,561	△ 408,503,480	
経常収益				
運営費交付金収益	3,677,536,376	3,317,999,027	△ 359,537,349	
業務収益	183,342,922	136,870,905	△ 46,472,017	
図書雑誌出版収入	137,905,512	101,203,665	△ 36,701,847	「くらしの豆知識」 (△18,940)、「月刊国民生活」 (△5,226)、リフレット (△6,855)
研修・宿泊収入	45,437,410	35,667,240	△ 9,770,170	研修宿泊収入 (△4,244)、資格受験料 (△4,988)
資産見返負債戻入				
資産見返運営費交付金戻入	112,188,573	117,449,786	5,261,213	

対前年度比較分析表

(単位:円)

	平成22年度①	平成23年度②	増減額 (②-①)	備	考 (単位:千円)
【損益計算書】					
財務収益	22,901,457	10,970,230	△ 11,931,227		
受取利息	20,130,139	8,924,189	△ 11,205,950	利子収入 (△11,931)	
有価証券利息	2,771,318	2,046,041	△ 725,277		
雑益	12,050,794	12,825,121	774,327	会議室使用料 (576)	
経常収益合計	4,008,020,122	3,596,115,069	△ 411,905,053		
経常利益	1,409,081	△ 1,992,492	△ 3,401,573	リース会計による損益差額	
臨時損失					
固定資産除却損	5,998	348,092	342,094		
当期純利益	1,403,083	△ 2,340,584	△ 3,743,667		